

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

福岡講倫館

高等学校

49

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>自立した人間として、これからの時代をたくましく切り拓き、社会に貢献できる人材を育成する学校</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創造性—幅広い分野に興味をもち、既存の知識や異なる意見を組み合わせ、新しい発想を生み出し、社会に貢献することができる生徒 ・協働性—多様な考えや価値観を尊重することができ、課題を他者と共に主体的に解決しながら自らの知識やスキルを高めようとする生徒 ・継続性—自己実現を目指し、生涯において常に学び続け、変化の激しい社会を理想や高い志をもって生き抜こうとする生徒
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知識活用による思考探究教育及び生涯学習社会の教育を踏まえた教育課程の編成 ・異文化理解、多文化及び多言語主義に柔軟に対応できる教育課程の編成 ・学習権の保障、人権教育、インクルーシブ教育の充実を図る教育課程の編成 ・公共的モラルの教育、主権者教育、社会奉仕の教育を必要に応じて教育課程に編成
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦する人 —失敗を恐れずに、新たなことに果敢に立ち向かう人 ・可能性を信じる人 —自分の伸びしろを信じ、何事にも妥協せずに努力する人 ・信念を持っている人—人に惑わされず、目標のために邁進する人

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>・スクールミッションを推進するため、総合学科としての特色をさらに生かし、教科横断型の学びに挑戦していく。 ・様々な教育活動の中で主体的な学びの実現とアウトプットの促進を図る。 ・様々な学習の改善を図りながら、さらに適正化・一体化された観点別評価の実施を図る。 ・地域ボランティアや企業・施設との実習等による連携、社会人講師の招集を勧め、地域と共にある学校づくりを推進する。 ・職員の危機管理能力の向上や、生徒への安全教育、マナー・モラルに関する教育の充実に取り組む。</p>	○カリキュラム・マネジメントによるキャリア教育の充実	キャリア教育の充実(進路ガイダンス、上級学校訪問、自分だけの時間割作成)	
	○教科横断的な視点による資質・能力の育成	個別最適な学び(100超の講座開設、少人数制授業、学習コンテンツの配信)	
	○言語活動の充実及びICT活用による授業改善	協働的な学びの計画(対話型学習の推進、専門家等との交流授業、生成AIを活用した授業)	
	○より主体的な学びの実現とアウトプットの促進	協働的な学びの計画(生徒主体の学校行事、地域との連携)	
	○授業と評価の一体化及びPDCAサイクルの確立	教務内規の見直し、教科会議の充実による評価の均衡を図る	
	○いじめ等の未然防止に関する職員研修の実施	いじめ等の未然防止教育、教員の発見力・対応力の向上を図るための研修実施	
	○教職員の人権感覚の向上及び生徒の人権教育の推進	公共的モラルの教育、主権者教育、社会奉仕の教育を進めるための研修実施	
	○個の特性に応じた特別支援及び学習支援の推進と教育相談の充実	学習権の保障、人権教育、インクルーシブ教育の充実を図るための研修実施	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	授業の評価をより効果的なものとし、教員の授業改善や生徒の学習改善の取組を図る。	指導と評価の一体化を促進し、観点別評価の利点を生徒に還元する。 年間指導計画を改定することで、教科内での意見共有を活性化する。 各担任・教科担当から面談等を利用して、生徒に学習改善を促す。	・生徒アンケート	
	科目選択に対する生徒の意識向上を図り、進路選択の幅を広げる。	冬の面談までの科目確定を目指して、担任面談のサポートをする。 各進路に必要な科目等を協議し、科目の設定を図る。 地域の中学生・在校生の本校のカリキュラムに求めるものを議論する。	・生徒アンケート ・進路希望調査 ・オープンスクールアンケート	
庶務・図書	諸式典や月別行事予定作成・PTA行事を効率的に実施できるよう企画立案する。	諸式典(入学式・卒業式・始業式・終業式)を時間通りに実施する。 月別行事予定は1か月前の月末に配布できるようにする。 PTA役員会・理事会を年5回確実に実施する。	・式典実施実績 ・月別行事予定配布実績 ・PTA役員会・理事会実施状況	
	職員・生徒ともに主体的に読書に取り組む環境づくりに努める。	図書館まつりを年に2回実施する。 図書館通信(こうちゃん通信)を学期に1回発行する。 図書館別館を整備し、多くの生徒に利用してもらう。	・図書館まつり実施状況 ・図書館通信発行実績 ・図書館別館来館状況	
ICT・教育支援	言語活動の充実及びICT活用による授業改善を図る。	相互授業参観の活性化により、授業改善を促す。 クロムブックの適切な管理・運用をする。 ICT機器活用に関する研修を3回実施する。	・授業アンケート ・教員アンケート ・クロムブック修理状況	
	校務の効率化と潤滑な運営を目指した研修を企画する。	研修動画のライブラリ化により、研修の振り返りを促進する。 校外研修での学びを還元する。 PTA研修視察における保護者参加を通して進路理解を深める。	・教員アンケート ・PTA研修アンケート	
生徒支援	集団における自己の役割を自覚し、責任を果たすことができる生徒の育成を目指す。	生徒主体で運営する体制を作り、リーダーシップの育成を図る。 一人ひとりの役割や目標を明確にしてチャレンジ精神を養う。 集団生活における規則の重要性や必要性を理解させる。	・学校生活アンケート ・行事等の事後アンケート	
	自尊感情を高めるとともに、他者を大切にできる生徒の育成を目指す。	職員間の情報共有を徹底する。 いじめを起こさないための人間関係づくりの指導を行う。 SNSを使用する際の注意点や危険性を十分に理解させる。	・学校生活アンケート ・いじめアンケート	
修学支援	生徒の情報共有を密に行い、個に応じたきめ細やかな支援を行う。	定期的に修学支援委員会を実施する(年10回以上)。 欠席3日以上の子供について担任に確認を行う。 話しやすい・相談しやすい体制づくりを推進する。	・いじめアンケート ・学校生活アンケート	
	教職員の研修体制の充実を図る。	校内研修を年間3回以上実施する。 ワンノート・職員掲示板を活用し研修情報の共有を図る。 研修後にアンケートを実施し、フィードバックを図る。	・職員アンケート	
保健・整美	清掃活動の徹底により、集団の一員としての役割を自覚させる。また、ワンヘルス教育として、環境保護の観点から、環境美化に努める。	美化コンクールを通して、清掃活動に対する意識を高める。 ワンヘルス教育を通して、環境保護についての関心を高める。 花や緑に親しむことで生命あるものに触れ、生徒の心の成長につなげる。	・美化コンクール実施状況 ・学校生活アンケート	
	生徒一人ひとりが心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう指導、支援する。	学校行事を通して、傷病を未然に防ぐ能力を育成する。 熱中症予防教室や防災避難訓練を通して、危機管理能力を高める。 「ほけんだより」を年10回発行し、生徒の健康管理能力を育成する。	・ほけんだより発行回数	

様式3

キャリア支援	生徒の第一志望進路を実現するために、それぞれに必要な力の育成・定着に努める。	模試や自主学習の状況等を教員間で共有・分析し、指導に役立てる。 小論文指導や模試、面接指導を行い、文章力や自己表現力を高める。 積極的な資格取得を促し、進路選択の幅を広げさせる。	・授業アンケート	
	講演会やガイダンスを行い、多様な進路先を示し、生徒個々の進路意識を高めさせる。	1学期に全年次でキャリア探究フェスを行い、進路意識を高めさせる。 多様な受験形態を説明し、自分に合った入試方式の選択と挑戦を促す。 進路情報の発信・共有を行い、進路について幅広く考えさせる。	・進路希望調査 ・進路実績	
探究支援	教科横断的に連携・連動した教育活動の充実を実現する。	本校のスクールミッションに沿った探究活動の更なる充実を図る。 「総合的な探究の時間」を教科・科目等の横断的なカリキュラムの軸とする。 各年次での準備を計画的に行う。	・生徒評価シート ・生徒アンケート	
	創立101年目の総合学科発表会の内容精選と組織的な実施計画の充実を図る。	早めの準備と計画を立て、生徒実行委員と教職員が協働できるようにする。 様々な科目の学習成果を展示及びステージ発表できるようにする。 本校のより深く楽しく学べる学習環境をアピールする。	・生徒アンケート ・来校者アンケート	
広報	歴史ある総合学科高校として学校情報や教育活動について特徴や魅力を正しく発信する。	学校情報や教育活動について、年間を通じて、広く継続的に広報活動を行う。 学校の特徴や魅力を多くの人々に正しく知ってもらう。 オープンスクール等を安全に実施し、進路希望に応じた情報発信をする。	・ホームページ及びInstagram更新数	
	広報活動のより良い手段を工夫・整理するとともに、柔軟に対応する体制を作る。	広報媒体の運用体制とシステム・規約を作る。 ホームページ、正門の掲示板など適切に活用する。 校内の共通理解と連携を図り、円滑に業務を遂行する。	・中学生及び保護者対応人数 ・オープンスクールアンケート	